



ダフニー オイルコートNo. 7

～潤滑油型防錆油～

1. 用 途

鉄あるいは非鉄金属部分の防錆および各種機械装置の潤滑油系内の防錆－潤滑油として使用されます。とくに潤滑油膜防錆剤が必要とされ、最も苛酷な曝露条件で屋内に格納されるとき防錆用です。

(防錆期間)

曝露条件	包 装		無 包 装	
	普 通	苛 酷	普 通	苛 酷
参考基準	12ヵ月	6ヵ月	4ヵ月	2ヵ月

2. 本 質

精選鉱油をベースに各種の防錆添加剤を配合した中位の粘度の潤滑油膜型防錆剤です。

3. 特 長

- (1) 潤滑油膜型防錆剤としての最高の防錆力を有します。
- (2) 防錆被膜の除去は、アルカリ、乳化系洗浄剤等極めて簡単に行なえます。
- (3) 潤滑油として兼用できます。
- (4) 非鉄金属にも使用できます。
- (5) 単位量当たりの被覆面積が広く経済的です。
- (6) 塗布が容易です。浸漬、循環、刷毛、噴射、布ガケ等いずれでも可能です。

4. 相当規格

JIS規格	MIL規格	備 考
JIS K 2246	MIL-L-3150 (P-7)	SAE-30相当粘度

5. 使用上の注意

(1) 前処理を徹底してください。

発錆の危険をなくすために部品の洗浄や脱水を充分実施ください。それだけ防錆期間が長くなります。

(2) 防錆油を塗布した部品は被膜を汚損したりすることのないように包装するか、覆いをかけてください。

(3) 包装紙の選択については次の点を御参考下さい。

① 耐油性のこと

防錆油が吸いとられると防錆力が低下します。

② 中性のこと

防錆油はアルカリや酸の影響を受けると防錆力が極端に低下します。普通の紙は酸性です。

③ 耐湿、耐水性のこと

普通の紙は空気中の湿気を自由に通します。それだけ発錆の危険が大きくなります。

(4) 塗布に際しては次の点にご配慮ください。

① 循環、浸漬法を採用される場合は水分等異物の混入を防止するため、対象系内のフラッシングや部品の前洗浄を充分に実施してください。また清浄ろ過装置を設備し、一定時期に前面更油することが必要です。

② 噴射法では圧縮空気を用いますが空気中の水分除去に注意しなくてはなりません。

③ 刷毛を使用するときは抜け毛しない丈夫で清浄なことが大切です。

7. 代表性状

項目		分析値
密度	(15°C)g/cm ³	0.9400
色相	ASTM	L3.5
引火点	(COC)°C	230
動粘度 mm ² /s	@40°C	136.9
	@100°C	10.33
流動点	°C	-25
銅板腐食(@100°C×3h)		1(1B)
蒸発量(@100°C×h)		0.2
湿潤試験	h	300以上
塩水噴霧試験	h	48以上
危険物分類(第四類)		第四石油類

6. 荷 姿

200Lドラム缶, 20Lペール缶

- 本商品の取り扱いについては、当該油種の「製品安全データシート」(SDS)及び容器に記入の取り扱い注意事項を十分に熟読の上、ご利用下さい。
- 「製品安全データシート」は、ホームページ(<https://www.idss.co.jp/business/lube/>)からダウンロードできます。
- ダウンロードできない場合には、製品購入先にご用命願います。
- 掲載の性状、性能等は弊社試験方法による測定値や知見であり、正確さや完全さを保証するものではありません。予告なく変更されることがあります。

出光興産株式会社 潤滑油二部 TEL:03-3213-3146

潤滑油・グリースのお問合せは <https://www.idss.co.jp/business/lube/> から‘お問い合わせ事例のご紹介’まで

BM 2019/4/1